

研究構想シート	学校名	松江市立秋鹿小学校
	氏名	長谷川杏美
A 研究主題 「聴き合い、伝え合いながら、高め合う集団づくり」～ICTの活用を通して～		
B 研究の目的 「聴き合い、伝え合いながら、高め合う集団づくり」をめざすための手立てを、ICTを活用した授業実践を通して探る。		
C 子どもの実態 ○素直で明るい。 ○真面目で一生懸命取り組む。 ○受容的な雰囲気があり、話をよく聴く子が多い。 ●粘り強さに欠ける。 ●発展的な活用力、応用力に欠ける。 ●相手とは異なる考えを伝えて、より高め合う気持ちが弱い。	E 手立て・内容（研究仮説） ①対話を通して学びを広げたり、深めたりできる授業づくり ②対話型授業のよさを、子ども自身が実感できる授業づくり ③対話やICT活用の基本的なスキルの育成 上記①～③のうち、①②について、今年度は重点的に取り組んでいく。	D めざす子どもの姿 （１）聴き合う ア うなずいたり、あいづちをうったりなど、反応しながら聴く。 イ 相手の考えを大切にしながら、聴いて理解しようとする。 （２）伝え合う ア 自分の考えをもち、表現しようとする。 イ 自分の考えを友だちに分かりやすく説明しようとする。 （３）高め合う ア 自分と友だちの考えを比べて思考する学び合いを通して、新しいものの見方・考え方やよりよい解決策に出会う。（思考の深まり、教科のねらいの達成） イ 友だちの表現や考えのよさに気付き、みんなで学び合うことに喜びを感じる。
	F 検証方法 ・児童観察（発言・ワークシート） ・児童アンケートの実施と分析	
	G 研究計画 ・一人一授業の実施と振り返り（6月～2月） ・児童アンケート（1学期末・学年末）	